

第3回 関東小太刀短棒選手権大会

同時開催 第1回 フルコンタクトジュニア新人戦

第1回 ザ・マスターズ空手道選手権大会のご案内

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。この度、「第3回関東小太刀短棒選手権大会」を下記のとおり開催させて頂く事となりました。本年は、フルコンタクトのジュニア新人戦とマスターズの大会と同時開催となっております。

つきましては、ご多忙中の事とは存じますが、選手の皆様方に多数のご参加を頂けますようご協力お願いいたします。

【日 時】平成 30 年 6 月 24 日(日)

開場・選手受付 AM 8:30
開会式 AM 9:00
試合開始 AM 9:30~

【会 場】霞ヶ浦文化体育館(大体育室)

〒300-0835 茨城県土浦市大岩田 1051 TEL029-823-4811

【主 催】拳友会茨城本部 中山道場

【後 援】IKA国際空手協会

【種 目】1. 小太刀個人戦(幼児~一般) 2. 小太刀団体戦(ジュニアのみ) 3. フルコンタクト(ジュニア新人戦) 4. フルコンタクト(マスターズ)

【参加費】◎シングルエントリー 4,000 円(団体戦以外)

◎小太刀個人戦(ジュニア)とフルコンタクト(ジュニア)のダブルエントリー 6,000 円

◎小太刀個人戦(一般)とフルコンタクト(マスターズ)のダブルエントリー 7,000 円

◎小太刀団体戦(3名ずつジュニアのみ) 1人につき1,000円(個人戦出場者に限る)

※ 親子で1種目ずつ出場の場合は二人で7,000円

※ 軽食付き

【ルール】別紙参照

【階 級】◇小太刀◇ ◎ジュニア 学年別(学年混合)・男女別 ◎一般 男女別・高校生以上

◇フルコンタクト・ジュニア新人戦◇ ・各地方大会での入賞程度の選手・無級~6級まで(初心・初級)
・幼児~小学生 ・学年別 ・小学2年まで男女混合 ・小学3年以上男女別

◇フルコンタクト・マスターズ◇年齢別(35~65才まで5才刻み)・男女別

※現役の全日本クラス大会出場選手は出場できません

【締 切】平成 30 年 5 月 12 日(土)必着

* 申込書、参加費は現金書留にて以下
大会事務局宛にお送り下さい。

* 一旦納入された参加費に関しては、
いかなる理由があろうとも返却しません。

【申込先】

〒300-0045 茨城県土浦市文京町
4丁目3番地 富士ビル4F
拳友会茨城本部中山道場 事務局
TEL029-869-9471 Fax029-869-9473



大会規定

<小太刀・個人戦>

【ポイント制】(10ポイント先取り制 延長1分以内先取りポイント)

【審判及び時間】

○試合は主審1名、副審1名の計2審制、または、主審1名、副審2名の3審制で行う。

○時間は各クラスとも1分30秒の合計ポイントにより優劣を決める。

【技あり】

○相手の体に小太刀・短棒が先に当たった時点で技ありとする。

○上段(首から上)は2ポイント、その他の部位は1ポイントとする。

○相打ちは両者ポイントとする。

○小太刀・短棒を落とした場合でも試合は続行します。(すぐに拾い直してください)

○小太刀・短棒を落とした相手への技有りポイントは1ポイントとする。(面を攻撃しても1ポイントとなります)

○小太刀が場外に出た場合は相手に1ポイントの加算とする。(少しでも残っていれば良い)

○体の両足がコートより出た場合は相手に1ポイント加算する(場外)

○延長戦の相打ちは取らず、但し、相打ちの上段(2ポイント)対 上段以外(1ポイント)の場合は上段(2ポイント)の勝ちとなる。

【反則】

○相手をつかんでの攻撃

○金的への攻撃

○突きの攻撃(行為も反則になります)

○小太刀・短棒以外の攻撃(例:盾、突き、蹴りなど)

○審判の宣告「止め」後の過剰攻撃

○全て反則は相手の1ポイント加算となる。

<反則加算ポイント> ・反則行為1回目は注意警告とする。反則行為2回目より相手に1ポイント加算する。

【防具】

○面はスーパーセーフ、または、主催者が定めて面を使用とする。小太刀の持ち手には拳サポーター使用とする。

【小太刀・短棒】

○主催者が定めた小太刀・短棒、盾(キックミット・小)を使用とする。

【大会服装】

○空手(道衣)着装のこと。

<小太刀・団体戦(男女混合・ジュニアのみ)>

◎幼児の部

・代表者(各団体3名)にて大将勝ち残り制(コート内3名×3名にて決戦)

・大将者1名を選出する。

◎高学年の部

・小学4～6年生までの代表者(各団体3名)にて大将勝ち残り制(コート内3名×3名にて決戦)

・必ず2学年以上を選出し大将者1名を選出する。

<組み合わせ例>

① 4年生1名、5年生1名、6年生1名

② 4年生0名、5年生2名、6年生1名

③ 4年生1名、5年生2名、6年生0名

④ 4年生1名、5年生0名、6年生2名

⑤ 4年生2名、5年生1名、6年生0名

⑥ 4年生2名、5年生0名、6年生1名

⑦ 4年生0名、5年生1名、6年生2名

◎低学年の部

・小学1～3年生までの代表者(各団体3名)にて大将勝ち残り制(コート内3名×3名にて決戦)

・必ず2学年以上を選出し大将者1名を選出する。

<組み合わせ例>

① 1年生1名、2年生1名、3年生1名

② 1年生0名、2年生2名、3年生1名

③ 1年生1名、2年生2名、3年生0名

④ 1年生1名、2年生0名、3年生2名

⑤ 1年生2名、2年生1名、3年生0名

⑥ 1年生2名、2年生0名、3年生1名

⑦ 1年生0名、2年生1名、3年生2名

◎中学生の部

・中学1～3年生までの代表者(各団体3名)にて大将勝ち残り制(コート内3名×3名にて決戦)

・大将者1名を選出する。

【審判及び時間】

○試合は審判員3名、監査1名とする。

○時間は3分とする

【技あり】

○相打ちは両者ポイントとする勝敗はつけない。ただし、上段(2ポイント)側が勝者とする。

○他、個人戦と同様

<フルコンタクトジュニア新人戦>

【試合時間】 初心 本選 1分 延長 1分(決勝のみ再延長 1分)

初級 本線 1分半 延長 1分(決勝のみ再延長 1分)

【防具着用表】

防具	ヘッドガード	拳サポーター	スネサポーター	膝サポーター	ファールカップ	チェストガード
幼年	主催者用意有	○	○	任意	○	×
小学女子	主催者用意有	○	○	3年以上義務	○	3年以上義務
小学男子	主催者用意有	○	○	3年以上義務	○	×

※幼児のファールカップ、ヒザサポーターなど使用していない場合の事故などは自己責任となります。小学生以上は規定を守らない場合は失格となります。

※ヘッドガードは主催者が用意しますが、各自持参の面でも使用可能です。

※ヒザサポーターは3年生以上義務となります。2年生以下は自由です。女子のチェストガードも同様です。

※サポーター類は JKJO 指定のサポーターではなくても使用可能(類似品可)です。

【1本勝ち】

○反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどで瞬間的に決め、そのダメージにより相手を倒した場合はすべて1本勝ちとします。

○ダメージにより、戦意喪失した場合。

【技あり】

○反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより一時的に動きが止まった場合。又は、崩れた場合、戦意を喪失した場合は技ありとします。

○ノーガードで相手選手の上段に蹴りわざがヒットした場合。

○前蹴り・下段蹴りで相手選手をきれいに転倒させて、下段突きをした場合。

○下段蹴りなどで、相手選手が足を引きずる様な場合。

○同時に蹴りが入った場合は、先に入った方が技ありとし、まったく同じ場合は相打ちとし技ありとはならない。

○胴廻し回転蹴りをかわし、タイミングよく下段付きをした場合。

【反則】

○掴み、掴んでからの攻撃。

○掌低、または正拳による押し、手・肘による顔面への攻撃。

○頭突き、金的への攻撃。

○倒れた相手、背後からの攻撃。

○故意に場外に出ること。

○故意に倒れ、相手に攻撃をさせない事。かけ逃げなど。

○上段ヒザ蹴り。

○以上の反則には審判より注意が与えられ、注意4回で失格(反則負け)となります。

<ザ・マスターズ>

【試合時間】 本戦 1分半 延長なし

【防具着用表】

防具	ヘッドガード	拳サポーター	スネサポーター	膝サポーター	ファールカップ	チェストガード
マスターズ	○	パンチンググローブ (主催者用意有)	○	○	○ (女子アンダーガード)	男子× 女子○

※ヘッドガードは主催者が用意しますが、各自持参の面でも使用可能です。

※サポーター類は JKJO 指定のサポーターではなくても使用可能(類似品)です。

※マウスピース可

【1本勝ち】

○反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどで瞬間的に決め、そのダメージにより相手を倒した場合はすべて1本勝ちとします。

○ダメージにより、戦意喪失した場合。

【技あり】

○反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより一時的に動きが止まった場合。又は、崩れた場合、戦意を喪失した場合は技ありとします。

○ノーガードで相手選手の上段に蹴りわざがヒットした場合。

○前蹴り・下段蹴りで相手選手をきれいに転倒させて、下段突きをした場合。

○下段蹴りなどで、相手選手が足を引きずる様な場合。

○同時に蹴りが入った場合は、先に入った方が技ありとし、まったく同じ場合は相打ちとし技ありとはならない。

○胴廻し回転蹴りをかわし、タイミングよく下段付きをした場合。

○上段膝蹴り。

【反則】

○掴み、掴んでからの攻撃。

○掌低、または正拳による押し、手・肘による顔面への攻撃。

○頭突き、金的への攻撃。

○倒れた相手、背後からの攻撃。

○故意に場外に出ること。

○故意に倒れ、相手に攻撃をさせない事。かけ逃げなど。

○以上の反則には審判より注意が与えられ、注意4回で失格(反則負け)となります。

<注意事項>

- フルコンタクトのセコンドは4名(家族でも可)です。服装は自由ですが、華美な服装や着帽はお控えください。
- 審判に従わなき場合は失格とします。
- 審判への暴言についても反則行為、または失格とします。
- 大会状況に合わせたルールの変更を行うこともあります。
- ゼッケンは当日配布します。
- 事故が生じた場合主催者側は一切の責任を負いかねます。

各自でスポーツ保険に加入しておいてください。

- 参加選手は勿論、付き添いの方々も相手選手や審判員に対する礼節・マナーに充分ご配慮願います。
- ジャッジへのクレームは一切受け付けません。
- 三脚を使用するのビデオ撮影はご遠慮ください。